

## 令和3年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第3回）議事要旨

日 時 令和3年7月28日（水）9：30～14：00

場 所 新見市役所本庁舎3階 第4委員会室

出席者

評価委員会 岡崎委員長、田中委員、中西委員

事務局 古家参与、羽場主任

### ■要旨

前回までの評価委員会で各委員から聴取した意見を取りまとめた公立大学法人新見公立大学令和2年度業務の実績に関する評価結果（案）について内容の確認を行った。

今回の評価委員会で取りまとめが完了したため、評価結果を市長に報告することとなった。

### ■詳細

#### [項目別評価]

#### I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置

##### 1 教育

##### 1) 教育の内容

2ページ目 「約9割の学生が～行いが～」を「約9割の学生が～取組が～」に修正。

「各学科が～学習に対する～」を「各学科が～学修に対する～」に修正。

3ページ目 d) 地域福祉学科の箇所に「地域をフィールドとした事業に積極的に取り組み成果をあげている。今後も引き続き地域の中で活躍する学生の姿が見えるよう努めて欲しい。」を追記。

4ページ目 チューターに関する評価を「1人のチューターの担当が5名程度と少なく、学生に対し細やかな支援ができている点が評価できる。」に修正。

また、上記評価を3ページ目の“③きめ細やかな学修指導”の箇所に移動。

##### 2) 教育の実施体制

8ページ目 ③遠隔授業の充実の評価を「コロナ禍に対し、迅速に教育環境を整え、対面授業と遠隔授業の両方を可能にした。評価できる取組である。」に修正。

9ページ目 ①地域との一体性確保 a)健康保育学科の評価を『「新見市保育・教育カリキュラム」は、新見市に大学があるということを活かし作成できた。大変有意義な取組である。今後はこれを活用し、新見市の保育の質の向上が図られることを望む。』に修正。

②実習施設との連携整備 a)健康保育学科の評価を「教育支援センターを中心として、保育現場と大学の連携が推進できている。さらに実践的、効果的な連携が進むことを望む。」に修正。

##### 2 研究

## 1) 研究の内容

1 1 ページ目 「学際的な～」の前に「今後も学際的な～」と追記。

## 2) 研究の実施体制

1 2 ページ目 「学際的な研究が進むよう、研究者の確保を引き続き務めて欲しい」を追記。

1 3 ページ目 『「教員活動の省察」に今後期待する』を追記。

## 3 学生の確保及び支援

### 1) 学生の確保

1 4 ページ目 最初の評価を「入試状況の分析結果から各学科の選抜方法の検討・改新を行った。それにより、受験倍率や学生確保の状況に大きな成果として表れている。今後もこの水準が維持されることを望む。」とする。

②キャンパス情報等の発信の評価を「充実したHPの内容が学生確保に貢献しており評価できる。」とする。

1 5 ページ目 ①高大連携の推進の評価を「地域福祉学科において地元の高校に開かれた大学として連携事業が実施されており評価できる。今後はこの取組が他学科でも行われることを望む。」に修正。

### 2) 学生生活に対する支援

1 6 ページ目 最初の評価の冒頭に『「学修成果及び満足度」アンケートの結果によると、』を追記。

1 7 ページ目 「～購入されており評価できる。」を「～購入できるシステムをつくる取組ができています。」に修正。

1 8 ページ目 「～感染症対策を講じ成果が出ており評価できる。～」を「～感染症対策を講じ、感染者がゼロに抑えられており成果が出ていると思われる。この点が評価できる。～」に修正。

2 0 ページ目 評価「キャリア支援について、～」の記載箇所を b) 就職試験対策から②キャリア支援センター体制の構築へ移動。

## II 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 1 ページ目 評価「学生が地域へ～」の記載箇所を 2) 学生ボランティアの「活動の場」へ移動。

2 1 ページ目 評価「コロナ終息後～」の記載位置を 2 2 ページ目①地域の伝統的行事への参画支援体制の継続へ移動。

2 2 ページ目 就学前施設との連携の評価を「保育士へのリカレント教育ができる場は貴重である。」『「新見市保育・教育カリキュラム」の策定に尽力されたことが評価できる。これにより、新見市内の保育の質の向上が図られることに期待する。」とする。

2 2 ページ目 「～研修や相談が行えたことは～」を「～研修や相談を実施したことは

～」に修正。

#### IV 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 25 ページ目 評価を「事務の効率化や組織の充実を図るために、専門知識や経験が必要な職種についてはプロパー職員を増やすべき。」とする。
- 26 ページ目 「～強化されて改善されており評価できる。今後、～」を「～強化され改善されており評価できる。これにより、～」に修正。
- 26 ページ目 3) 職員に関する規程の整備の評価を「四年制大学の運営に必要な職員数を確保するために規程等の見直しを行い、人事の適正化を早急に図ることを期待する。」とする。

#### V 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 27 ページ目 「～時系列で表し、実績に加味される～」を『～時系列で表し、「年度計画に係る実績」に表記される～」に修正。

#### VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 29 ページ目 「色々な情報が～」を「様々な情報が～」に修正し、記載箇所を3) 大学ホームページの箇所に移動。

#### VII その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

- 30 ページ目 「～コロナ禍においても学習環境を～」を「～コロナ禍においても教育環境を～」に修正。
- 31 ページ目 「～予防・対策が上手く図られており～」を「予防・対策が適切に実施されており～」に修正。

### [全体評価]

#### 1. 事業の実施状況について

評価の記載順を変更

「将来のキャリアに繋がる高い意図がある。」を「将来のキャリアに繋がる高い意識を育成し、学生の資格取得率が非常に高い。」に修正。

#### 3. 法人のマネジメントについて

「教員及び職員の確保ができています。」を「教員及び職員の充実に向けた努力が認められる。」に修正。

#### 5. 組織、業務運営等に係る改善事項等について

「専門的職員のプロパー化をさらに進められたい。」を「四年制の完成年度に向けて事務の効率化や組織の充実を図るために、専門的知識や経験が必要な職種についてはプ

ロパー職員を増やすべき。」に修正。

## [評価結果]

(1) 総合的な評定の文章を一部修正。

(2) 中期計画の項目ごとの評定

I 教育研究等の質の向上に関する目標

②特筆すべき項目

【教育】の箇所に「約9割の学生が地域防災士の資格を取得しており、大学の取組が成果に結びついている。」を追加。

【学生確保及び支援】の箇所に「学生の生活面への支援ができています。」「地元高校との事業連携を行っている。」を追加。

III 地域に開かれた大学づくりに関する目標

②特筆すべき事項

「学生の地域への参画機会が生まれている。」を追加。

VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

イ 理由

「大学の様々な情報が～」を「見る人が必要な情報が～」に修正。

VII その他業務運営に関する重要事項

②特筆すべき事項

「～学生に対しポケットWi-Fiルータの貸し出しを行った。」を「～既存のシステムを活用し、早急に対応ができた。」に修正

「～建設を終えることができた。」を「～建設を終え、令和2年10月から共用開始することができた。」に修正。

## ■次回開催日について

令和3年7月29日(目) 15時00分から、市役所本庁舎市長室で市長に対して評価結果を報告することとした。